

会 議 録

会議の名称	令和7年度第2回本庄市下水道事業審議会
開催日時	令和7年10月7日(火) 午前・ <u>午後</u> 2時00分から 午前・ <u>午後</u> 3時10分まで
開催場所	都島浄水場
出席者	審議会：柿沼光男委員、櫻田平一郎委員、伊藤啓一委員、北崎昌寛委員 黒澤博委員、小久保賢一委員、立石茂則委員、高月政男委員 下岡忠敬委員、早川ゆり委員 事務局：高柳上下水道部長、岩井課長、吉村課長補佐、小山課長補佐 齋藤主査、根岸主査、臼田主任
欠席者	小高隆雄委員、茂木徳男委員、君塚美治委員
議題 (次第)	1. 開会 2. あいさつ 3. 諮問 4. 議題 第1号 本庄市雨水管理総合計画の策定について 第2号 パブリックコメントの結果について 第3号 答申(案)について 5. その他 6. 閉会
配付資料	令和7年度第2回本庄市下水道事業審議会次第 下水道事業審議会席次表 下水道事業審議会名簿 資料1 本庄市雨水管理総合計画(雨水管理方針)策定業務委託 資料2 本庄市生活排水処理施設整備構想(案) 資料3 本庄市生活排水処理施設構想の見直しについて(答申) 資料4 令和7年度本庄市下水道事業審議会開催日程(案)
その他特記事項	審議会の協議により、発言者氏名は記載しないこととする。
主管課	上下水道部下水道課

会議の経過	
発言者	発言内容・決定事項等
事務局	<p>皆様、こんにちは。</p> <p>本日は、お忙しい中、令和7年度第2回本庄市下水道事業審議会にご出席賜りまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の進行を努めさせていただきます、下水道課長の岩井と申します。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>本日、吉田市長は公務のため不在ですので、山下部副市長が代理を務めさせていただきます。</p> <p>初めに本日の会議で使用する資料を確認させていただきます。</p> <p>本日の会議資料は、机上に配布させていただきました、次第、席次表、名簿、資料1から資料4となります。</p> <p>資料の配布漏れ等はございませんでしょうか。</p> <p>それでは、次第2 あいさつに移らせていただきます。</p> <p>山下部副市長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
山下部副市長	<p>皆様、こんにちは。</p> <p>事務局からもお話がありましたが、本来であれば、吉田市長からご挨拶を申し上げるところではございますが、公務のため代理で出席をさせていただきました、副市長の山下部でございます。今日は、市役所ではなく、水道施設である都島浄水場で開催ということで、なかなか来ることのない施設ですので、初めての方もいらっしゃるのかなと思います、よろしく願いいたします。</p> <p>今年度の第1回審議会では、「本庄市生活排水処理施設整備構想の見直し」について、皆様方にはご審議を賜りました。たくさんのご意見等をいただいたと、聞いております。本日も引き続き、ご審議いただくこととなりますが、よろしく願いいたします。</p> <p>また、本日は新たなお願いをさせていただきたいと考えております。次第の中にもありますとおり、「本庄市雨水管理総合計画の策定について」皆様方にご意見等を頂戴したいと考えております。最近、災害になるような大雨が全国的にございます。線状降水帯ということで、長時間にわたって大雨が降り続くといったことで、全国的に大きな被害がでていると聞いております。</p> <p>本庄市におきましても、過日、1時間に106mmと報道があったと思いますが、1時間に100mmということはものすごいことではございますが、私が小さい頃にバケツをひっくり返した雨が降ると聞いたことがありましたが、それどころではないのではという雨が、瞬間的ではなく、長時間に及んで雨が降るということで、大きな災害になってしまうことがございます。本庄市内におきましても、過日の大雨により、家屋への浸水もございました。</p>

	<p>そういった中で全国的な大雨による被害を極力下げていこうといったことも必要であると考え、全国的にこの雨水管理総合計画を策定していくことで市町村が動いていくのではないかと考えております。気候変動の影響を踏まえました、下水道による浸水対策について、今後、事務局のほうから、いろいろお願いをすることがございますが、いろいろなご意見を頂戴できればと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>今後につきましても、本市の下水道事業の将来を見据えましたご意見、ご支援をお願いできればと考えております。まとまりのない挨拶となりましたが、よろしくお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。</p> <p>どうぞ、よろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、柿沼会長よりご挨拶をいただきたいと存じます。</p>
柿沼会長	<p>只今、副市長からご挨拶をいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>今日は、令和7年度第2回下水道事業審議会に大変お忙しい中、場所も変わりましたが、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>7月11日に開催されました第1回審議会には、新しく6名の方が委員となられ、市長から「本庄市生活排水処理施設整備構想の見直しについて」の諮問や「下水道事業の取組みと経営状況について」、2つの議題に対し、貴重なご意見等をいただきました。</p> <p>本日につきましても、新たに雨水管理総合計画についての諮問もごございますが、皆様のご協力のもと、会議を進めて参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、次第3 諮問につきまして、山下部副市長より柿沼会長へ諮問書のお渡しをお願いいたします。</p> <p>(諮問書朗読し柿沼会長へ手渡し)</p> <p>ここで誠に申し訳ございませんが、山下部副市長は別の公務のため退席させていただきます。</p> <p>(副市長退席)</p> <p>続きまして、本日の出席者が会議に必要な定数に足りているかを報告させていただきます。</p> <p>本庄市下水道事業審議会条例第6条第3項で「審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。」とされております。</p> <p>本日、ご出席いただいております委員の皆様は13名中10名でございます</p>

	<p>ので、会議を開催するに必要な過半数に足りており、本日の会議は成立していますことをご報告いたします。</p> <p>また、本庄市下水道事業審議会規則第2条では「審議会の会議は、公開とする。ただし、公正かつ円滑な議事の運営に支障が生じると認められる場合であって、出席した委員の3分の2以上の多数で議決したときは、非公開とすることができる。」とされています。</p> <p>今回の審議会につきましては、前回と同様に公開とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本日の傍聴希望者につきましては、いらっしゃいませんでした。</p> <p>続きまして、次第4 議題に移らせていただきます。</p> <p>議事の進行につきましては、審議会条例第6条第2項により「会長は、会議の議長となり、議事を整理する。」となっておりますので、柿沼会長にお願いしたいと思います。</p> <p>柿沼会長、よろしくお願いいたします。</p>
柿沼会長	<p>改めまして、委員の皆様には、ご多忙中のところ、本庄市下水道事業審議会に、ご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>これより、条例の規定にしたがい、議長として議事を進めさせていただきますので、皆様、慎重かつスムーズな議事の進行にご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは議事に入らせていただきます。</p> <p>議題第1号「本庄市雨水管理総合計画の策定について」 事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>議題第1号「本庄市雨水管理総合計画の策定について」 (資料1にて説明)</p>
柿沼会長	<p>ただ今、事務局より説明がありました「本庄市雨水管理総合計画の策定について」、質疑並びにご意見はございませんか。</p>
委員	<p>浸水リスクの評価のマッピングで、浸水しやすさは高低だと思うのですが、脆弱性はどのような基準なのでしょう。</p>
事務局	<p>脆弱性につきましては、各計画を作成するときの自治体が設定することができるものになりまして、まだ決まてはいないのですが、例えば、浸水した場合の宅地の被害額の大きさや避難場所で浸水となった場合にリスクが高くなってしまふ等が評価の対象となります。</p>
委員	<p>浸水した場合の被害の大きさと言うことでしょうか。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおりです。</p>
委員	<p>被害の大きさはどのように測定するのでしょうか。人口だとか病院などいろいろ尺度があって難しいと思うのですが。</p>
事務局	<p>正式に決めるのはこれからですが、建物の被害額や人口、建物の密度も判断する材料となります。</p>
委員	<p>雨水管理総合計画を策定するのは、市内の農振地区を除いた地域なのか、市</p>

様 式

	街化区域のみなのか、どのような範囲で考えているのでしょうか。
事務局	今回の雨水管理総合計画については、下水道の地域において策定するものとなっていて、下水道事業としては、全体計画で定めている範囲となります。ただ、下水道事業の範囲以外についても浸水は起こっていますので、担当している部署とも意見交換を行い、昨年度に行ったシミュレーションでも下水道区域以外においてもシミュレーションを行っていますので、どのようなメカニズムで浸水が起こっているのか、ある程度把握することができると思っています。下水道事業としては、下水道区域内で進めては行きますが、それ以外の区域につきましては、担当部署と協議を行っていきたいと考えています。
委員	汚水計画の市街化区域内を基本的に考えているということで、それ以外については入らないということですか。
事務局	下水道事業としての計画になりますので、おっしゃるとおりです。
委員	雨水に対しての計画を策定するとのことですが、本庄市は今まで雨水幹線の整備をやってきたと思うのですが、その整備してある雨水幹線を土台に本日説明のあった計画を作って、これから随時、整備していくといった考えでいいのですか。 整備計画を作ることによって、その計画ができたあと、雨水の整備を具体的に実際していくと、そこまで見通して、今回の策定をするということでしょうか。
事務局	今まで幹線等を整備してきたものも活用していくのですが、それは降雨量を57mmで計算して整備してきました。今回、この計画の中で57mmでは被害がでてしまう箇所もあることから、57mm以上にしなければならないエリアもあると考えています。そういった場合には、今まで整備した既存のものにバイパスを作ったり、貯留施設を作ったり、また、ハード面の対策だけでなく、ソフト面での対策はできないのかといったことを検討するようなものになっており、今まで整備してきた施設をベースに検討していきます。浸水シミュレーションについても、今ある施設を基に行っています。 今後の整備についてですが、今までは、ここを優先的にやっっていこうといったものがなかったので、今回のシミュレーションや庁内等の意見も聞いて優先度の高いものを決めていきます。実際の整備を行うことが可能なものについては、整備を進めていきたいと考えていますが、現段階では、まだどのような内容で整備をしていくのか、どの場所を進めていくのかが決まっていないので、このようなことも踏まえて計画を策定したいと考えています。
委員	次回の審議会で、これからどのように整備してくかなどの案がでてくるということですか。 整備区域や優先度などを設定した資料がでてくると考えていいですか。
事務局	エリア毎で進めていきたい場所や優先順位などを示せる案を提供できると

	考えています。ただし、その箇所が実際に整備を行うことが可能なのかといった点については、次の計画で定めていくものとなります。
柿沼会長	公共下水道の整備が始まったと同時に、雨水についても大きな幹線の整備が始まったと理解しているのですが、それを今度、雨水対策として対応していくわけですが、汚水と雨水の兼ね合いで整備をしていくのか、教えていただきたいと思います。私としては、すでにかかなりの雨水の整備ができているとの認識でいましたので、どのように今度は整備を広げていくのかなど、下水道課の考えを委員の皆さまに教えていただきたいと思います。
事務局	降雨量57mmとしては、ほぼ整備ができており、コンサルからの意見を聞く限りでは、他の自治体と比べると、浸水するエリアは小さいと聞いてはいます。街中は浸水するエリアが少ないのですが、久城堀や本庄駅付近は実際に浸水しているといったこともありますので、そういった箇所をどのようなやり方、57mm以上の設定をするのかといった内容などを今回の計画で定めていきたいと考えています。
柿沼会長	最近の気象状況が以前とは変わってきて、異常な状態の雨も降ってきている状況ですので、このような状況も踏まえて対応していく計画ということだと思いますが、次回の審議会では計画案を示していただけるということですので、それを見て結論を出していきたいと思います。 委員の皆さま、他にいかがですか。
委員	農業集落排水の地域については、雨水幹線の整備はできていないと思いますが、今後、本庄道路ができますし、そういった地域にも雨水の整備を行っていくのでしょうか。
事務局	今回の雨水管理総合計画は、市街地での計画となりまして、市街地以外の農振地域といったところにつきましては、関係部署に浸水エリアの情報を提供し、どのような対策をしていくのかなど、そういったことも協議していきたいと考えております。
委員	全国的に異常な雨が降っていますが、本庄市は大きな災害等もない状況ですが、今回の計画策定にあたって、国や県から、各市町で策定するような依頼がきているのでしょうか。それで、本庄市も雨水幹線の整備は行っているが、そのような計画はできていないから、策定するということでしょうか。以前から汚水と雨水の整備を行ってきており、すでに雨水管が通っているのに、計画を策定し、また整備をするのかと勘違いをされないように、進めていかないと、また、市街地以外の区域では雨水管の整備ができていないことなど、市民にも説明していかないと計画を策定しても市民が理解していないと上手くないのかと思っています。今回の計画を策定する目的、先ほど事務局がしてくれた説明を市民の皆さんに行う必要があると思っています。
事務局	その点につきましても、今後、この計画を検討していく過程において、整理していきたいと考えています。

様式

委員	降雨量の57mmで計算し、整備を行っているが、この57mmを上げるということですか。
事務局	これまでは、降雨量57mmで整備してきましたが、近年ではそれ以上の降雨があることから、そういった部分も加味して検討していければと考えています。
委員	国から57mm以上で計算して良いことになったのですか。今まで57mmで計算し、整備してきた管では細いということになってしまおうのでしょうか。
事務局	原因は、様々あると思いますので、それぞれの原因を探りつつ、どのような対策が良いのか、雨水量についてもプラスアルファできるということですので、加味して、シミュレーションで浸水するとされている地区の対策を計画に定めて行きたいと考えています。
委員	ハザードマップを100mmで作り直しなさいという話が以前あったと思うのですが、それと今回の計画の関連性はあるのでしょうか。
事務局	前回は想定100mmをとという話で作ったと記憶しているのですが、今回は想定最大で検討していくものとなります。今回は最大で153mmを想定したシミュレーションの図面を活用し、それを雨水管理総合計画に反映していきたいと考えています。
委員	小山川や女堀川は、以前、県に聞いたことがあるのですが、線状降水帯による大雨の場合に呑み込めないということを聞いたことがあるのですが、その辺との関連性はどのようなのでしょうか。
事務局	今回の計画につきましては、内水ハザードでのものとなりますので、あくまでも市街地における浸水を想定するものであり、河川に流れこまないように貯留槽や調整池を設けるなどの対策を検討するものになると考えています。
柿沼会長	他に質疑はございますか。 質疑等も無いようですので、終結といたします。 続いて、議題第2号「パブリックコメントの結果について」事務局より説明をお願いいたします。
事務局	議題第2号「パブリックコメントの結果について」 (資料2にて説明)
柿沼会長	ただ今、「パブリックコメントの結果について」、事務局より説明がありましたが、議題3号「答申(案)について」も関連するものとなりますので、続けて事務局より説明をお願いいたします。
事務局	議題第3号「答申(案)について」 (資料3にて説明)
柿沼会長	ただ今、事務局より説明がありました、議題第2号及び第3号について、質疑並びにご意見はございませんか。 質疑等も無いようですので、終結したいと思いますがお異議ございませんか。

様式

委員	(なし)
柿沼会長	<p>意義ないものと認め質疑を終結いたします。</p> <p>それでは、皆様にお諮りいたします。</p> <p>議題第3号「答申(案)について」は、原案のとおり答申とすることでご異議ございませんか。</p>
委員	(なし)
柿沼会長	<p>全員賛成により、原案のとおり答申とすることと決定します。</p> <p>以上で本日の審議は終了いたします。</p> <p>皆様のご協力、誠にありがとうございました。</p>
事務局	<p>柿沼会長、ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第の5、その他でございますが、事務局より今後の審議会の開催スケジュールについて、ご報告をさせていただきます。</p> <p>「下水道事業審議会開催日程(案)」について (資料4にて説明)</p> <p>委員の皆様から何かご質問等はございますか。</p>
委員	(なし)
事務局	<p>特に無いようですので、閉会に移らせていただきます。</p> <p>職務代理者の榎田委員に閉会のご挨拶を賜りたいと存じます。</p>
榎田委員	<p>皆様、慎重審議をいただき、ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして「令和7年度第2回本庄市下水道事業審議会」を閉会いたします。</p>

本庄市下水道事業審議会

会長 柿沼 光男